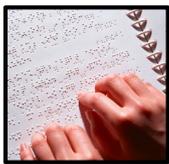


研究背景

視覚に障がいがある人たち



点字



点図



立体コピー

手で触ることにより情報を得る

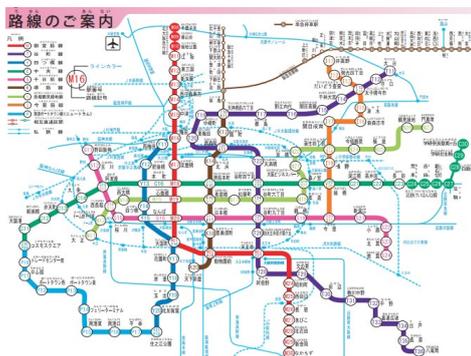
大阪教育大学：成田 一人，大内田 裕
 株式会社 コネクトドット：星野 寛
 大阪府立大阪南視覚支援学校：川野 学都
 大阪教育大学（学生）：井原 拓真，池上 尚吾
 山中 将，竹保 遥

まとめ

- 点字及び立体コピーの利用により、視覚障がい者が利用できる路線図を製作した。
- 「ToT: Tag of Things, ものタグアプリ」を利用することにより、音声案内にも対応した。ものタグに駅ごとの情報を入れることにより点図1枚でより多くの情報を得ることができる。

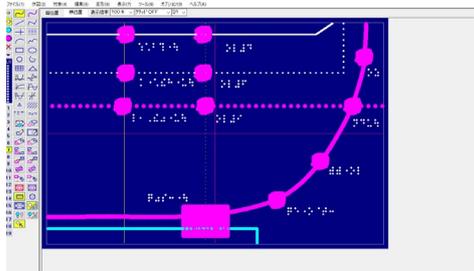
課題

路線の全体像がどのようになっているのか理解が難しい。



研究内容

データ作製



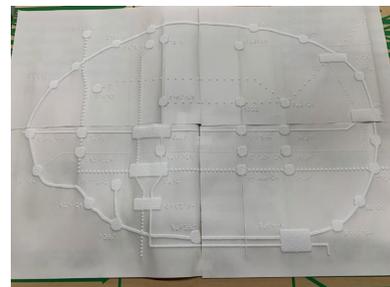
Edel

図面印刷



SINKA/EasyTactix

貼り合わせ



表



情報

タグ登録

ものタグ（コネクトドット製）



裏

コミュニケーション基盤としてのものタグアプリの普及は、令和元年度NICT「情報バリアフリー通信・放送役務提供・開発推進」の補助を受け、実施されています。

〒604-0866
 京都市中京区西方寺町160-2 船越メディカルビル
 株式会社コネクトドット
 Email: info@connectdot.jp
 HP: <http://www.connectdot.jp>
 TEL:075-746-3550, FAX:075-746-3551